

平成28年熊本地震 TEC-FORCE活動報告

平成28年6月6日
北海道開発局
事業振興部 防災課

◆ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)とは大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としています。(平成20年4月創設)

【活動内容】

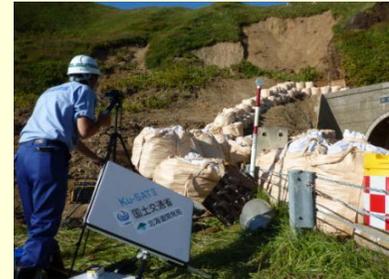
●被災状況の調査



河川の被災状況調査
堤防天端亀裂

●被災地支援

- ・リエゾンの派遣
- ・衛星通信車等の派遣による通信確保
- ・災害復旧に関する技術指導や助言



H26礼文島豪雨
Ku-SATIによる通信確保



宇城市担当者との打合せ
及び技術指導、助言

●災害緊急対応

- ・緊急輸送路の確保
- ・緊急湛水排除



H27関東・東北豪雨(宮城県)
排水作業

●二次災害の防止

- ・応急対策の立案・実施
- ・被災箇所危険度予測



国道57号阿蘇大橋地区
斜面監視

1. 地震の概要

- 平成28年4月14日 21:26頃 M6.5(暫定値)
最大震度7 熊本県熊本(益城町宮園)
- 平成28年4月16日 01:25頃 M7.3(暫定値)
最大震度7 熊本県(益城町、西原村)

○地震活動の状況(5月31日7:00現在)

震度4以上 106回、1以上 1,612回発生

2. 被害状況等

①人的被害(消防庁5月31日9:30現在)

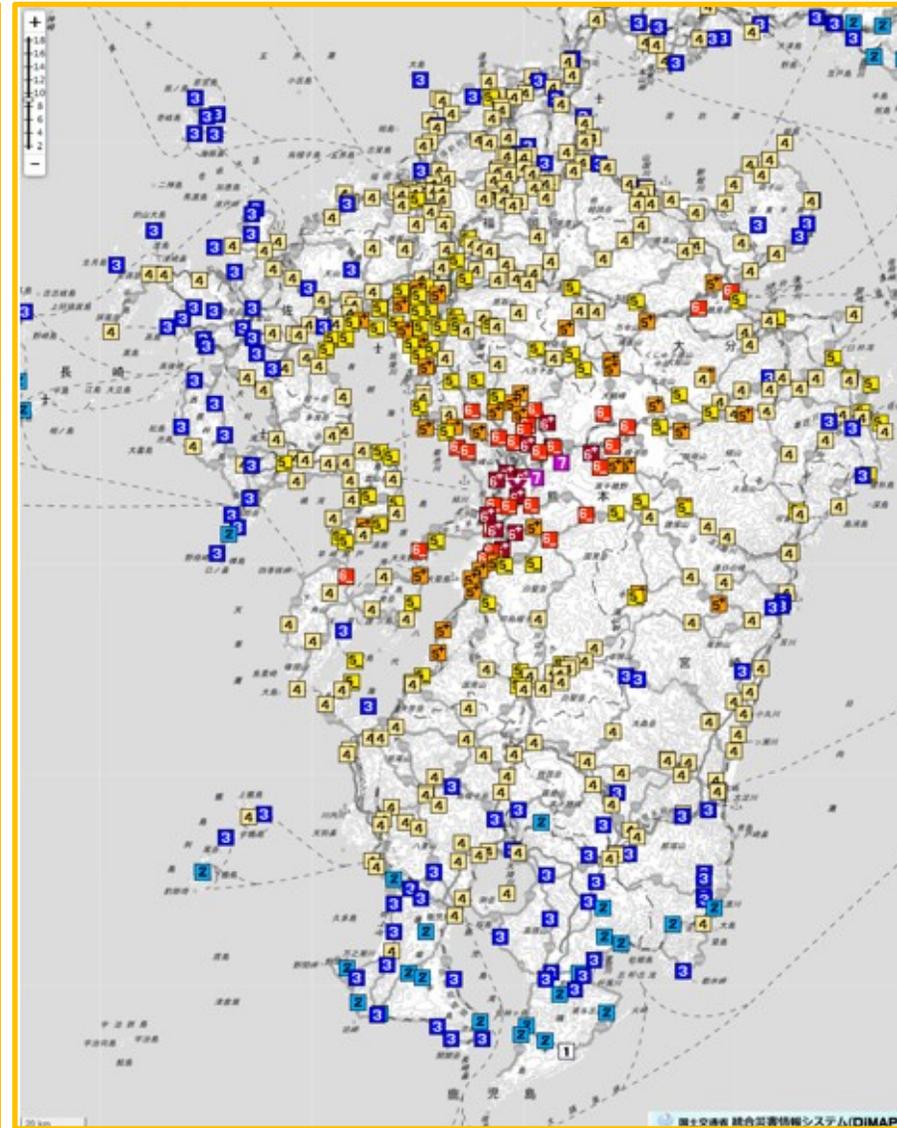
死亡 49人、重軽傷 1,663人
行方不明 1人

②建物被害(消防庁5月31日9:30現在)

(住宅被害)全壊 6,990棟
半壊・一部破損 105,854棟
(非住家被害)公共建物・その他 1,042棟
(火災) 16棟

③避難所の状況(5月30日13:30現在)

(熊本県) 187箇所 8,231名



震度分布図(4月16日 1:25頃)
※九州を抜粋

応援本部設置状況

組織	本部設置日時	本部廃止日時	のべ班数	のべ人数
	本部名称			
北海道開発局	4月18日 17:00設置	継続中	5班	22人
	北海道開発局 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
札幌開発建設部	4月18日 17:00設置	5月12日 9:00廃止	8班	34人
	札幌開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
帯広開発建設部	4月19日 17:00設置	5月12日 9:00廃止	3班	13人
	帯広開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
旭川開発建設部	4月20日 13:00設置	5月12日 9:00廃止	4班	17人
	旭川開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
室蘭開発建設部	4月21日 17:00設置	5月12日 9:00廃止	5班	20人
	室蘭開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
函館開発建設部	4月22日 13:00設置	5月12日 9:00廃止	1班	5人
	函館開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
小樽開発建設部	4月25日 16:30設置	5月12日 9:00廃止	1班	6人
	小樽開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
釧路開発建設部	4月27日 13:00設置	5月12日 9:00廃止	2班	9人
	釧路開発建設部 平成28年熊本地震災害応援対策本部			
合計	8開建体制設置		29班	126人

		派遣規模	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13					
先遣班	第1陣	1班 5人																																			
	総括班	第2陣	1班 5人																																		
		第3陣	1班 5人																																		
		第4陣	1班 4人																																		
		第5陣	1班 3人																																		
被災状況調査班	道路	第1陣	2班 10人																																		
		第2陣	2班 10人																																		
		第3陣	2班 10人																																		
		第4陣	2班 10人																																		
	砂防	第1陣	2班 8人																																		
		第2陣	2班 8人																																		
		第3陣	2班 8人																																		
		第4陣	2班 8人																																		
		第5陣	2班 8人																																		
河川	第1陣	2班 8人																																			
	第2陣	2班 8人																																			
	第3陣	2班 8人																																			
TEC-FORCE 合計	29班 126人 延べ572人・日																																				
応急危険 度判定 支援	第1陣	1陣 4人																																			
	第2陣	2陣 4人																																			
主な出来事			<ul style="list-style-type: none"> ●地震発生(4/14 21:26) ●地震発生(4/16 1:25) ● TEC-FORCE結集式 ■ TEC-FORCE派遣規模縮小 ・本省災対室と派遣調整(4/14~4/18) ・情報収集 ■ 本省災対室より派遣依頼 ● 熊本県、宇城市、熊本市へ報告 ● 熊本県、阿蘇地域振興局へ報告 ● 甲佐町へ報告 ● 宇城市へ報告 ● 菊池市へ報告、九州地整へ引継ぎ ● 緑川下流出張所へ報告 ■ (4/18)先遣班、被災状況調査班(道路) 派遣決定 ■ (4/19)被災状況調査班(砂防) 派遣決定 ■ (4/20)被災状況調査班(河川) 派遣決定 																																		

班 名 派遣期間 班・人数 計	本局及び開発建設部の隊員内訳	主な活動内容
総括班 4/19～5/11 5班・22人	北海道開発局 5班22人 (内 札幌 2人 旭川 1人)	九州地方整備局 TEC-FORCE総合司令部(福岡県福岡市)において 被害状況調査各班への指示、情報収集及び調整等の活動
被災状況調査班(道路) 4/19～5/6 8班・40人	札幌 2班10人 函館 1班 5人 小樽 1班 5人 旭川 1班 5人 室蘭 1班 5人 釧路 1班 5人 帯広 1班 5人	【市道等の被災状況調査】 ○宇城市(4/20～5/1) 5/1 調査結果を市に報告 ○菊池市(5/2～5/5) 5/5 調査結果を市に報告
被災状況調査班(砂防) 4/20～5/11 10班・40人	札幌 3班12人 旭川 2班 8人 室蘭 4班16人 (内 小樽 1人) 帯広 1班 4人	【土砂災危険箇所の調査】 ○宇城市(4/21～4/28) 4/28 調査結果を熊本県及び市に報告 ○熊本市(4/25～4/28) 4/28 調査結果を熊本県及び市に報告 【国管理河川の被災箇所点検】 九州地方整備局の応援 ○緑川水系緑川(熊本市、上益城郡 甲佐町)(4/29～5/1) 【町管理河川の被災状況調査】 河川班の応援 ○上益城郡甲佐町(5/2) 【国道57号阿蘇大橋地区の土砂崩壊現場における斜面監視作業】 九州地方整備局の応急復旧作業に係る応援(5/3～5/10)
被災状況調査班(河川) 4/21～5/4 6班・24人	札幌 3班12人 旭川 1班 4人 釧路 1班 4人 帯広 1班 4人	【県管理河川の被災状況調査】 ○阿蘇市 黒川(4/22～4/28) 4/28 調査結果を熊本県に報告 ○阿蘇郡西原村 布田川・烏子川(4/26～4/28) 4/28 調査結果を熊本県に報告 【町管理河川の被災状況調査】 ○上益城郡甲佐町(4/29～5/3) 5/3 調査結果を町に報告
応急危険度判定支援 4/22～4/29 2陣・8人	本局 2陣 8人	【建築物応急危険度判定】 ○熊本市(4/23～4/27) 4/23～4/27調査結果を熊本市に報告 ○上益城郡益城町(4/28) 4/28調査結果を益城町に報告

凡例:  熊本県

総括班 4/19~5/11

福岡市 九州地方整備局 情報収集及び調整

被災状況調査班(道路) 5/2~5/5

菊池市 市道等の被災状況調査

被災状況調査班(砂防) 4/25~4/28

熊本市 土砂災害危険箇所調査

被災状況調査班(道路) 4/20~5/1

宇城市 市道等の被災状況調査

被災状況調査班(砂防) 4/21~4/28

宇城市 土砂災害危険箇所調査

被災状況調査班(砂防) 4/29~5/1

熊本市、上益城郡 甲佐町 緑川被災箇所点検

応急危険度判定支援 4/23~4/27

熊本市 建築物応急危険度判定

応急危険度判定支援 4/28

上益城郡 益城町 建築物応急危険度判定

被災状況調査班(河川) 4/22~4/28

阿蘇市 黒川(県管理河川)の被災状況調査

被災状況調査班(砂防) 5/3~5/10

阿蘇郡 南阿蘇村 国道57号阿蘇大橋地区の斜面監視作業

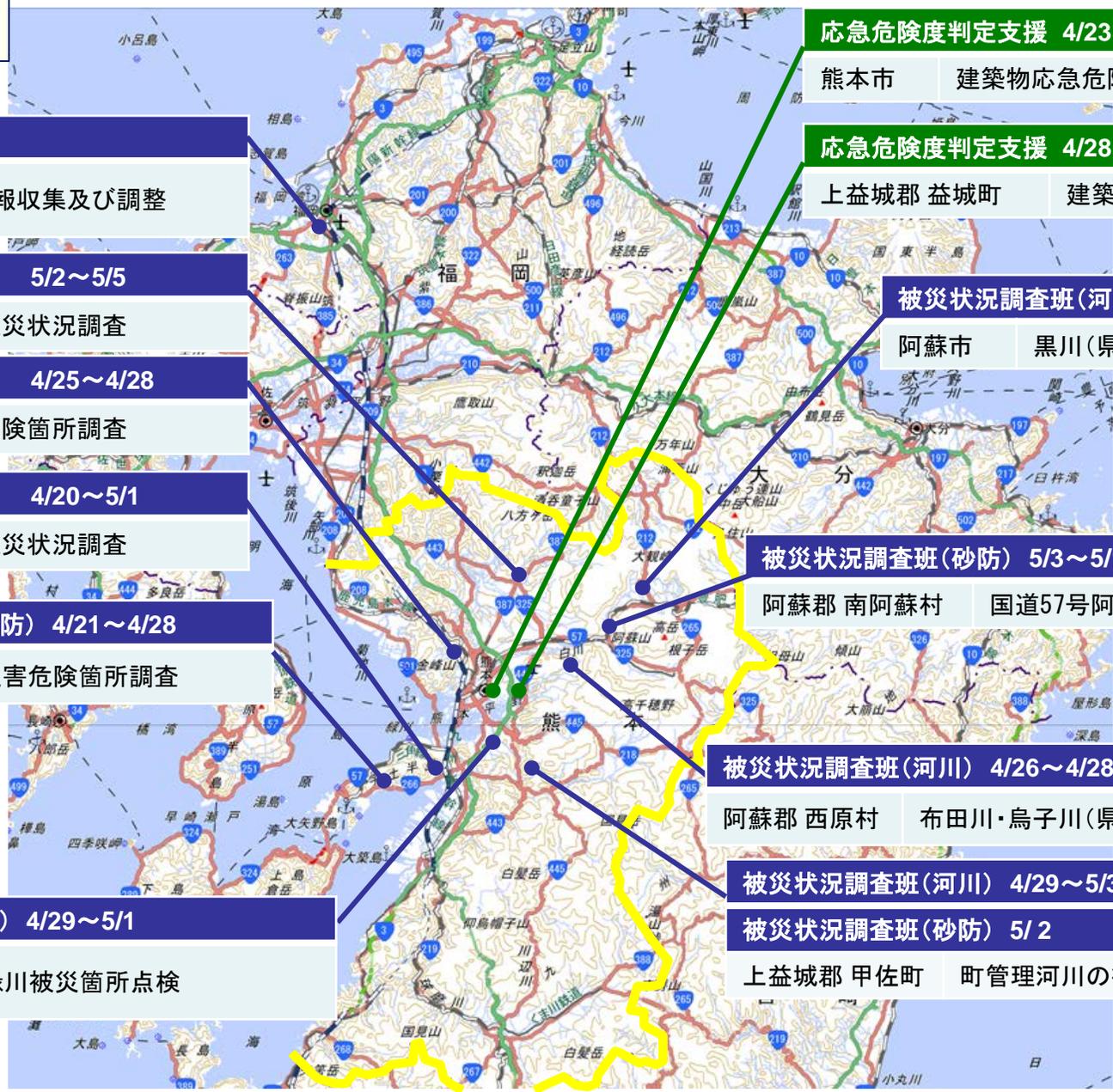
被災状況調査班(河川) 4/26~4/28

阿蘇郡 西原村 布田川・烏子川(県管理河川)の被災状況調査

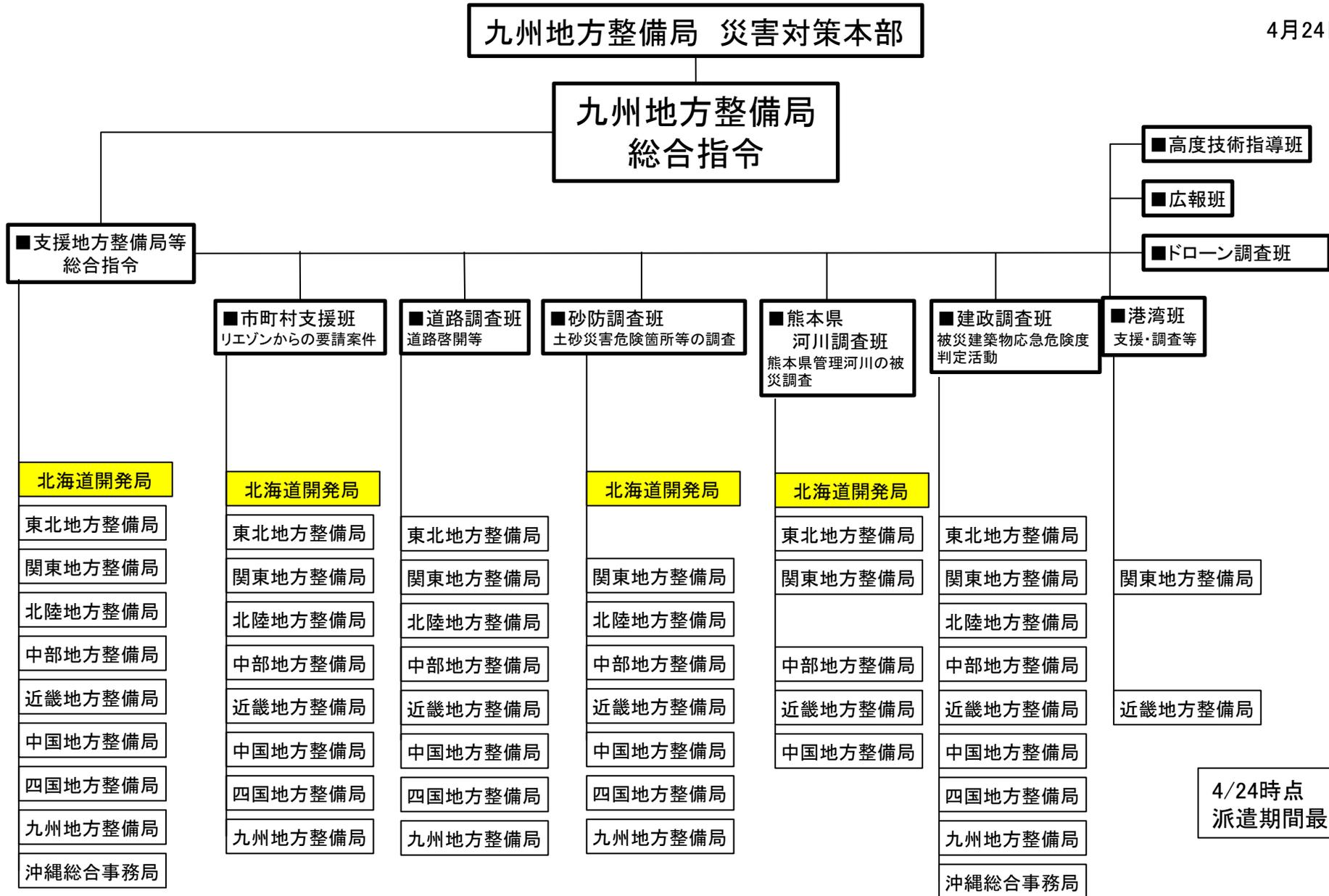
被災状況調査班(河川) 4/29~5/3

被災状況調査班(砂防) 5/2

上益城郡 甲佐町 町管理河川の被災状況調査



4月24日時点



4/24時点 400名
派遣期間最大 405名

今回の派遣の特徴

- 遠地への迅速な派遣のため、飛行機で乗り込み、空港周辺でレンタカーを借り上げ
- 道外への広域派遣として、今回初めて道路部門から被災状況調査班を派遣
- 初めて全国各地整等のTEC-FORCEが同時期に集結し、活動を実施
- 総括班のもと、複数の部隊が同時期に連続(交代)して活動

■ 熊本県知事



専門的な視点からの調査をして頂き、熊本県だけでは対応できなかったと思います。この調査結果を今後の復旧に役立てたいと思います。

熊本県土木部長の声

■ 熊本市長



国土交通省の技術力を持った方々に調査頂きありがとうございました。我々だけでは状況の把握には限界があるため、本当に感謝しております。

■ 宇城市長



危険な箇所を命がけでしかも短時間で調査頂き、大変感謝申し上げます。

■ 菊池市長



発災直後からの迅速な対応に感謝。専門家の視点により、市では気付かない箇所、危険な箇所も調査頂き大変心強い。皆様の力により今後早急に対応が考えられる。

写真は菊池市建設部長

■ 甲佐町長



余震の続く中、天候の悪い中、被害状況調査、対策工法の立案など様々な技術支援を頂き、誠にありがとうございました。調査結果を基に一日も早い復旧に取り組んで参ります。

写真は副町長

➤ 多数の隊員の受け入れ

(熊本地震) 他地整(九州を除く)から日最大約300人、延べ約5,000人・日のTEC-FORCE隊員を受け入れ

(課題) 宿泊施設や活動拠点など受け入れ体制の整備

➤ 気候への対応

(熊本地震) 北海道から派遣された職員は慣れない暑さで疲労

(課題) 厳冬期の北海道で受け入れる場合、隊員の防寒対策や災害対策用機械などの寒冷地対応

➤ 自治体ニーズや基礎情報の把握

(熊本地震) 自治体の支援ニーズの情報が不明確、地理的に不慣れな場所での活動に関する基礎情報の不足

(課題) リエゾン等を通じた自治体からの情報収集精度の向上への取り組みや自治体管理施設の情報収集